

授業科目名	人間教育学(2100150)		
時間割名	人間教育学(32102)		
時間割担当	金山憲正		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	水・2		

授業の目標・概要

人間教育 (Education For Human Growth) とは、子ども一人ひとりが個性的で主体的な存在として成長していくことを教育の究極的使命であるという考え方である。特に、子ども一人ひとりが世の中に主体的に参画し、責任を果たし、良き市民、社会人としてやっていく力 我々の世界を生きる力 を身に付けていくと同時に、自分に与えられた生命を自覚し、生の喜びや躍動、充実感を実感し、生涯にわたって自分の生命を深く生きていける力 我的世界 を生きる力を身に付けさせていくことである。人間教育学では、その理念を具現化する教育に関するトピックの中でも基礎基本となる概念について講義を行う。

学習の到達目標

人間教育学に関する各トピックについて、自らの考えを持ち、人間教育学の基礎基本について理解する。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。
3. 必要に応じて、単位認定者の指名したゲストティーチャーに講義を求める。

授業計画

- 第1回 テーマ
教育の人間化とは何か考える
- 第2回 テーマ
真の自立を目指す教育とは何か考える
- 第3回 テーマ
生き方教育とは何かを問う
- 第4回 テーマ
自分自身への気づきとは何か
- 第5回 テーマ
自然を体験することの意味
- 第6回 テーマ
内面を読むことの意味
- 第7回 テーマ
学力観の転換について理解する
- 第8回 テーマ
振り返り：自己評価の生かし方を指導に取り入れる
- 第9回 テーマ
真の基礎・基本とは何かを問う
- 第10回 テーマ
学びと育ちの支援・援助について具体的に論議する
- 第11回 テーマ
「生きる力」を育てるとはどうすることが
- 第12回 テーマ
学習環境を創るためにできることを考える
- 第13回 テーマ
自信とプライドを育てることの真の意味を考察する
- 第14回 テーマ
授業に生かす自己評価活動の具体を分析する
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、個別計画書の作成の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

準備学習・復習及び授

- ・全ての授業において作るレポートを蓄積し、必ずそのレポートを読んで、次の授業に臨む。
- ・授業の中で行ったディスカッションや交流において取ったメモをまとめておく。

履修上のアドバイス及

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

必要に応じて提示する。

参考書

必要に応じて提示する。